

< 令和4年度6月補正予算（案）の概要の説明 >

令和4年度6月補正予算については、「すべての市民の幸せ」を基本に、市民の皆様にお約束した公約の実現はもとより、政策的に予算化が必要なものについて、しっかりと反映させて編成しました。

今回は、6月補正予算の項目を、第七期帯広市総合計画の4つのまちづくりの目標と共通施策に沿って整理しましたので、これに基づき、「令和4年度6月補正予算のポイント」をご説明します。

はじめに、「ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち」につきましては、障害者を雇用する企業の拡大と就労後の職場定着を図るため、企業向けの成功事例集の作成などを行うほか、HPV 定期接種の対象年齢を過ぎ、自費で任意接種を受けた方を対象に、接種費用を助成します。

また、感染症対策として、社会福祉施設などへの抗原検査キットの支給や新規入所者などへの PCR 検査受検費用に対する支援を行うほか、ろう者が病院受診時などにスマートフォンなどを介して遠隔手話通訳サービスを受けられるよう、タブレット端末などを導入します。

つぎに、「活力とにぎわいと挑戦があるまち」につきましては、十勝の食の高付加価値化や首都圏などの十勝ファンの知見を地元企業の取り組みなどに活かす仕組みの構築などを行うほか、UIJ ターンの促進に向けた、都市圏の大学生などと地元企業との関係を維持するためのコミュニケーションアプリを導入します。

また、とちぎ帯広空港の利用促進に向けた、国内定期路線を利用するツアー商品などの造成やメタン発酵消化液の利用促進に向けた実証試験などに対する支援を行うほか、地域における消費喚起を促進するため、プレミアム付商品券を発行します。

つぎに、「ともに学び、輝く人を育むまち」につきましては、学校給食の魅力などを紹介する動画の制作や地元シェフなどと連携した新メニューの開発を行うほか、学習・生徒指導の質の向上と教職員の業務の効率化を図るため、校務支援システムを導入します。

また、帯広大谷高等学校の校舎改築に伴う整備費などを支援するほか、南町中学校の整備に向けた基本調査や動物園の馬ふれあい舎整備に向けた実施設計を行います。

つぎに、「安全・安心で快適に暮らせるまち」につきましては、地域防災力の強化として、WEB 版ハザードマップや防災ガイドを作成するほか、指定避難所に非常用発電機などを整備します。

また、温室効果ガス排出量実質ゼロを目標とする地方公共団体実行計画（区域施策編）や、地域公共交通計画の策定に向けた調査を行うほか、消防・救急車両と除雪車両を更新します。

最後に、「多様な主体が活躍する地域社会の形成・自治体経営の推進」につきましては、市政情報をわかりやすく発信するための機材整備や生活館の改修に向けた実施設計などを行います。

また、デジタル技術の活用による、住民サービスの向上などに向けた地域課題の整理やデジタル活用策などの検討を進めます。

以上が、6月補正予算の主な事業であり、予算総額は 11億1,630万1千円であります。

なお、各会計別の予算規模などの詳細につきましては、各会計予算総括表(資料1ページ)、一般会計歳入歳出総括表(資料3～4ページ)をご覧ください。

これらの予算につきましては、6月13日招集予定の議会に提案します。